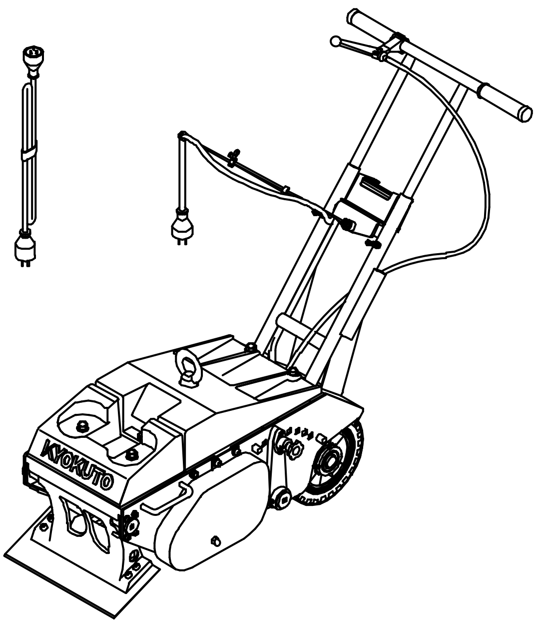
A99-H101-00

超強力床材剥がし機

フロアペッカーP

型式　ＳＭ－Ｋ２０１



取扱説明書

安全にお使い頂くために、ご使用前に必ずお読み下さい

この度は強力床材剥がし機「フロアペッカーＰ」をお買い上げ頂きありがとうございます。
この取扱説明書は本製品を安全にお使い頂くための事柄を記載しています。ご使用の前に本書を最後までよくお読みの上、正しくお使い下さい。
また、本書はいつでも利用できるよう大切に保管して下さい。

極東産機
H18.06.26
参考図

お使いになる前に

本機をご使用になる前に、下記の付属品が揃っていることをご確認下さい。

・剥がし機本体
・取扱説明書(本書)
・インテリア機器登録カード
・替刃／普通刃
・替刃／シート刃
・替刃／強力刃
・延長コード
・グリス
・グリスポンプ
・刃物継ピース（小２個）
・刃物カバー
・工具袋
・十字ドライバー
・スパナ(アイドラー用)
・両口スパナ（13㎜×17㎜）
・六角レンチ（３㎜）
・六角レンチ（４㎜）
・六角レンチ（５㎜）
・六角レンチ（６㎜）
・T型BOXレンチ（17㎜）

品質には万全を期しておりますが、万一、不足や運送中の破損等があった場合は、速やかに弊社までご連絡下さい。

目　　次

安全上のご注意

本機をご使用頂くには、正しい取扱いと定期的な保守・点検が不可欠です。
以下の一般取扱注意事項をよくお読みになり、十分に理解された上で作業を行って下さい。
この取扱説明書では、取扱いを誤った場合に発生が予想される危害・損害に対する注意事項を、その程度により ⚠［警告］ ⚠［注意］ ［メモ］という項目に分類して表示していま

⚠［警告］・・・・・・この表示を無視して誤った取扱いを行うと、重大な事故につながるおそれのある注意事項を示しています。

⚠［注意］・・・・・・この表示を無視して誤った取扱いを行うと、機械の破損・故障につながるおそれのある注意事項を示しています。

［メモ］・・・・・・・・これを知っておくと便利という補足事項を示しています。

運搬時

警告	搬入・搬出および移動時は必ず刃物を外して下さい。
警告	車への積み降ろしはウェイトを外し必ず大人２名以上で行って下さい。また、ハンドルを持っての積み降ろしは行わないで下さい。万一、ハンドルが抜けた場合に危険です。

保管時

警告	水平な場所に保管して下さい。
警告	保管時は必ず刃物を外して下さい。
警告	高温・多湿な場所に保管しないで下さい。
注意	刃先カバーのある刃物は、必ず刃先に刃物カバーを取り付けて、布袋・箱等に入れ保管して下さい。

安全上のご注意

作業時

警告　本機はＡＣ１００Ｖ用です。ＡＣ１００Ｖ以外の電源では使用しないで下さい。　発電機を使用する場合は、４．５kＶＡ以上の電源容量のある物を使用して下さい。

警告　昇圧トランスを使用する場合は１５Ａ以上の物を使用して下さい。

警告　煙が出ている、変なにおいがする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。　すぐに機械本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

警告　作業に際して、本機の上に人が乗ったり、刃物の前方での作業を行わないで下さい。

警告　作業によっては多くの粉塵が発生することがあります。
必ず防塵マスク・防塵めがね等の保護具を着用して下さい。

注意　作業前あるいは現場毎に定期的なグリスアップを行って下さい。
※グリスは付属品もしくはリチューム系グリス＃０を使用下さい。

その他

警告　作業時以外は必ずスイッチをＯＦＦにして電源プラグを抜いて下さい。

注意　電源プラグを抜く際は電源コードを引っ張らないで下さい。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグ部分を持って抜いて下さい。

注意　定期的に各部のネジは増し締めを行って下さい。

全体外観図及び各部名称

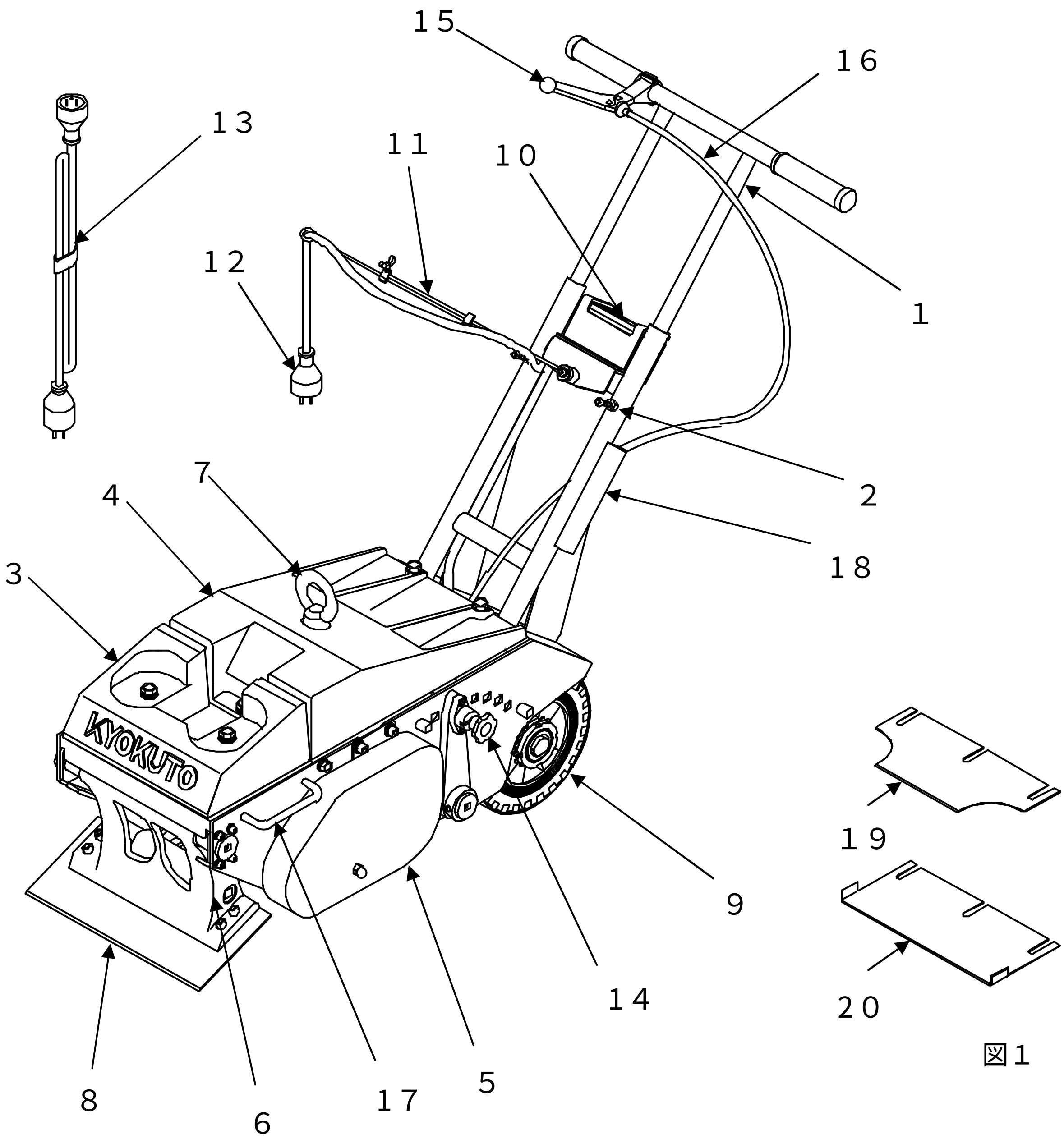


図1

１．　調整ハンドル
２．　ハンドル調整ボルト
３．　ウエイト
４．　カバーウエイト
５．　ベルトカバー
６．　刃物ブラケット
７．　吊りフック
８．　普通刃
９．　走行車輪
１０．　スイッチ
１１．　伸縮アンテナ
１２．　電源プラグ
１３．　延長コード
１４．　角度調整ノブ
１５．　クラッチレバー
１６．　クラッチワイヤー
１７．　取手
１８．　工具ホルダー
１９．　強力刃
２０．　シート刃

作業準備

作業前確認

作業前には必ず下記の点を確認の上ご使用下さい。

◇ＡＣ１００Ｖ(±１０%)、１５Ａ以上の電源が確保できる工事現場であること。
◇アース（Ｄ種接地）を接地させていること。
◇刃先部分がきれいに研がれていること。
◇各部の取付ネジに緩みがないこと。
◇ベルトの張り具合が適当であること。

MEMO
壁際やコーナー･階段等は「コンパクトペッカー」またはチーゼルワイス･クリーパー等と合わせてご使用頂くとより効率よく作業できます。

調整ハンドルの調整方法

［1］ ハンドル調整ボルトを緩め、調整ハンドルを適当な位置に引き出して下さい。

［2］ ハンドル調整ボルトを締め込み、調整ハンドルをしっかりと固定して下さい。

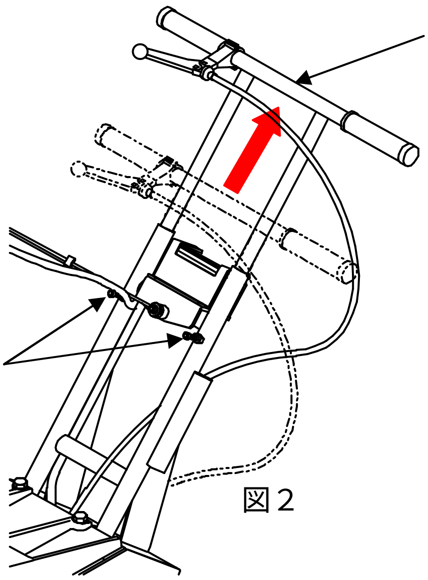


図２

警 告

ハンドル調整ボルトは、きつく締め付けて下さい。
作業中も緩んでいないか時々確認しながら使用して下さい。

移動時・運搬時の操作方法

［1］ 移動の際は、スイッチがＯＦＦになっている事を確認し、刃先を浮かせてクラッチレバーを握り、クラッチを切った状態で移動して下さい。
（図３参照）

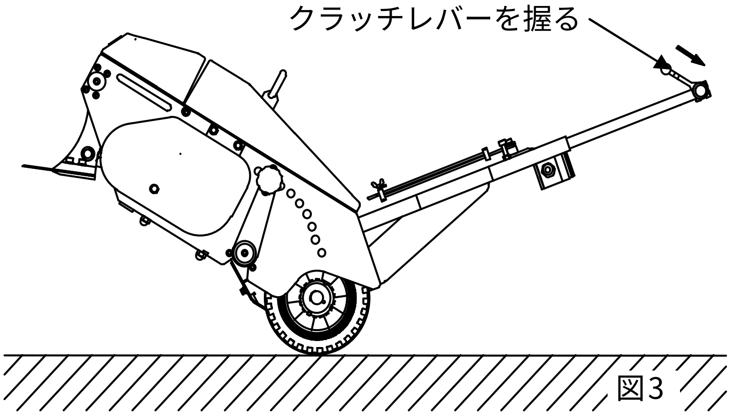


図3

MEMO

台車等に載せれば、クラッチレバーを握らず、楽に移動が出来ます。

［2］ 車への積み降ろしや運搬の際は、本体前部に六角ボルトで取付いているウエイトを取外し(図４参照)、 大人２人以上で積み降ろしを行って下さい。

ただし、吊りフックを利用する場合はウエイトを外す必要はありません。（Ｐ６図５参照）

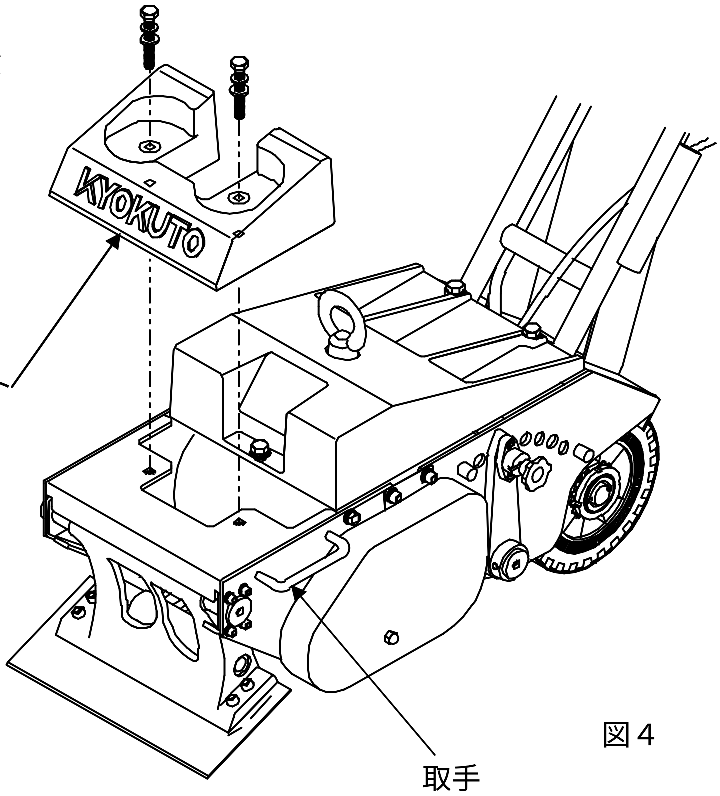


図４

注　意

ハンドルを持っての積み降ろしは行わないで下さい。
万一、調整ハンドルが抜けた場合に危険です。

吊り上げ運搬方法

本機は吊りフックによる運搬が可能です。

［1］ 吊りフックに吊り具を掛けて、安全を確認しながら吊り上げて下さい。（図５参照）

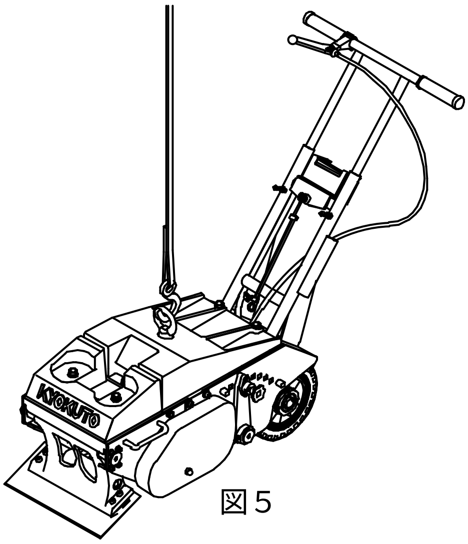


図５

警 告

吊り上げられている本機の下には絶対に入らないで下さい。

注 意

吊り具を吊りフック以外の場所に掛けたりすると機械が破損する恐れがあります。また、吊り上げた時機械が回らない様に注意して下さい。

伸縮アンテナの調整方法

［1］ 伸縮アンテナを作業に合わせ必要な側に回して下さい。

［2］ 蝶ボルトを左に回して緩めて下さい。

［3］ アンテナの長さを調節して下さい。

［4］ 蝶ボルトを右に回して
締めて下さい。

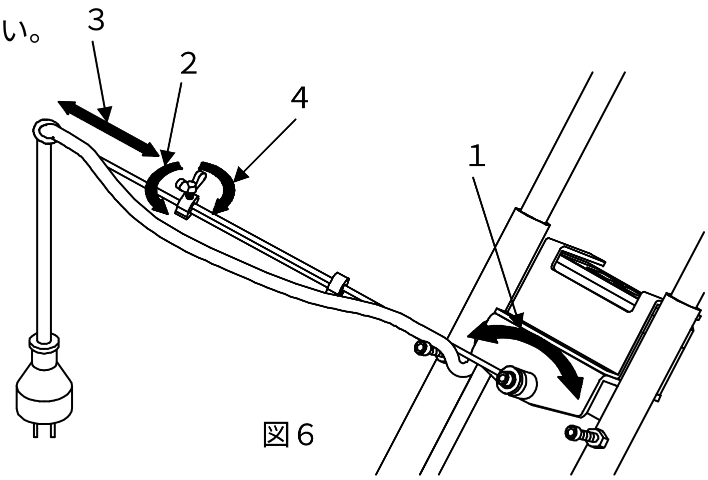


図６

刃物の取付方法

［1］ 刃物ブラケット部を浮かせて下さい。
（図７参照）

> 警 告
> 取付作業中はハンドルを人がしっかりと支えて固定して下さい。

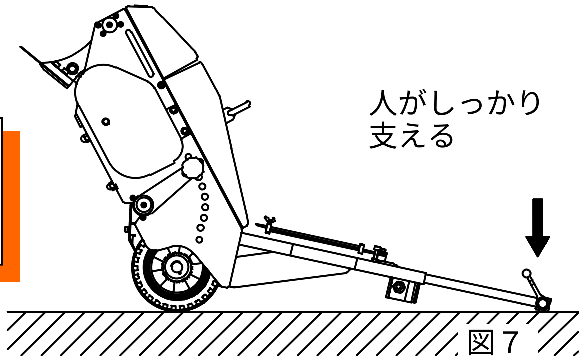


図７

［2］ 刃物の研磨面を上向きに奥まで差し込んで下さい。（図８参照）
但し、下地がコンパネ等の刃先が食い込みやすい素材の場合は研磨面を下にして取付けて下さい。

> MEMO
> 摩耗して短くなった刃物は継ぎピースを使用して下さい。
> ※Ｐ１３参照

［3］ ４本の締め付けボルトをしっかりと締め付けて下さい。

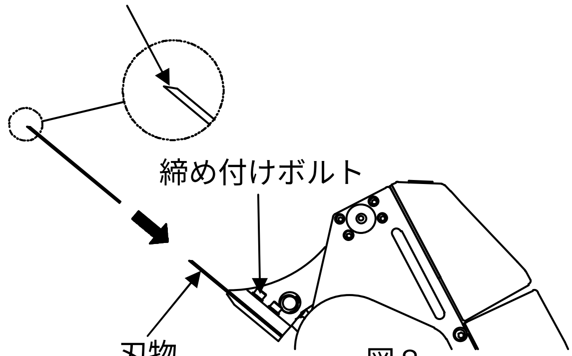


図８

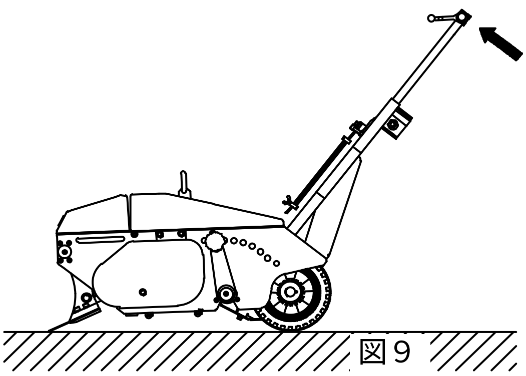
> 警 告
> ・刃物は奥まで差し込み、ボルトは強く締めて下さい。
> ・作業中は必ずスイッチをＯＦＦにして電源プラグを抜いて下さい。

刃物の角度調整方法

［1］ 刃先を床につけ、車輪を少し浮かせて下さい。（図９参照）

［2］ １．角度調整ノブを手前に引っ張り、９０度回して下さい。
２．車輪を好みの角度に合わせ、角度調整ノブを戻してセット穴に入れて下さい。
（図１０参照）

> MEMO
> 刃物を立てるほど床材・下地に食い込みやすくなります。


図９

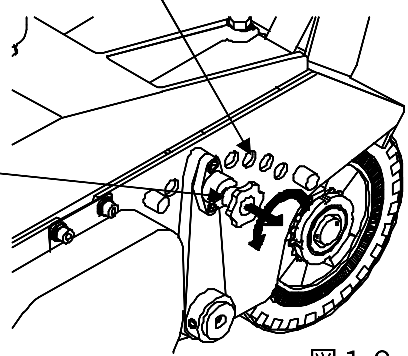


図１０

床材剥がし作業

［1］ ＡＣ１００Ｖ、１５Ａ以上のコンセントにプラグを差し込みます。

［2］ 刃先を床から浮かせて、クラッチレバーを握った状態（図１１参照）でスイッチをＯＮにして下さい。

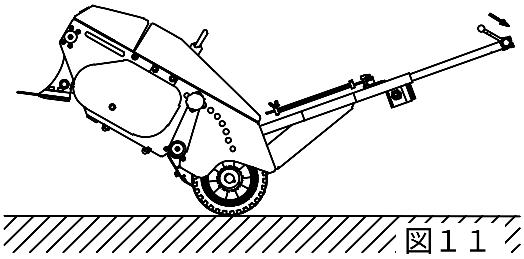


図１１

［3］ 刃先の振動が一定状態になった事を確認し、ゆっくりと刃物を床面の中に食い込ませて下さい。刃物が食い込まない場合は、刃物の角度調整（Ｐ７参照）に従って調整を行って下さい。

［4］ 刃先が床材と床下地の間に食い込んだのを確認し、床材の剥がれ状況を見ながら、徐々にクラッチレバーを放して下さい。刃物が床下地に食い込みすぎる場合には、刃物の角度調整（Ｐ７参照）に従って調整を行って下さい。

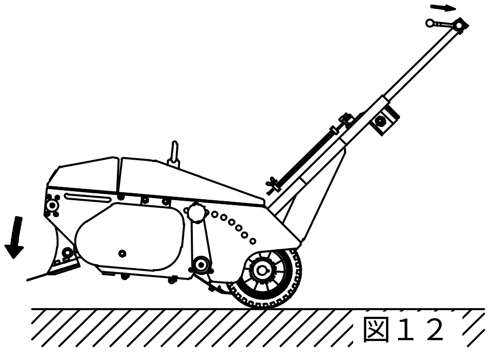


図１２

MEMO
振動により機械が後退してくることがありますが、片足をハンドルの付け根付近に置いて、足で突っ張りながら刃物を床に押しつけると、機械の後退を抑えられます。

［5］ 床材の剥がれ具合が悪くなった場合は、新品もしくは研磨した刃物に取り替えるか、取付刃物を研磨して下さい。

MEMO
本機には普通刃の他に２種類の刃物があります。床材の種類、床下地の状況、接着剤の度合いに合わせて刃物を使い分ければ、より効果的に作業ができます。

強力刃　：頑固に接着している床材剥がしに適しています。
シート刃　：ＣＦシート等の長尺床材剥がしに適しています。
普通刃　：一般的な床材剥がしに適しています。

MEMO
下地がコンパネなどの場合は、新しい刃物で剥がすと下地にまで食い込むことがありますので、あらかじめ刃先をコンクリート下地の部分で少し動かして刃先を少し摩滅させて、下地に食い込まない様にして下さい。

注　意
モーターに何らかの過負荷がかかっている場合や工事現場の電圧が低下している場合には過負荷遮断機構が作動する事があります。過負荷遮断機構が作動している場合はＰ１４に記載の要領で復帰させて下さい。

・過負荷がかかっている場合は、過負荷の原因を取り除いてから、再使用して下さい。
・電圧が低下している場合は、昇圧器で適正な電圧に昇圧して下さい。コードリールや延長コード等を使用している場合は、電圧が低下する事がありますのでご注意下さい。

刃物用ベルトの調整と取り替え

［1］ ベルトカバーを外して下さい。

［2］ テンションボルトを緩め、Ｖベルトを適当な張り状態にして、テンションボルトを締めて下さい。（図１３参照）

> MEMO
> ベルトの張り具合はベルト中央を軽く押さえて２～３mmたわむ程度が適当です。

［3］ ベルトカバーを取り付けて下さい。

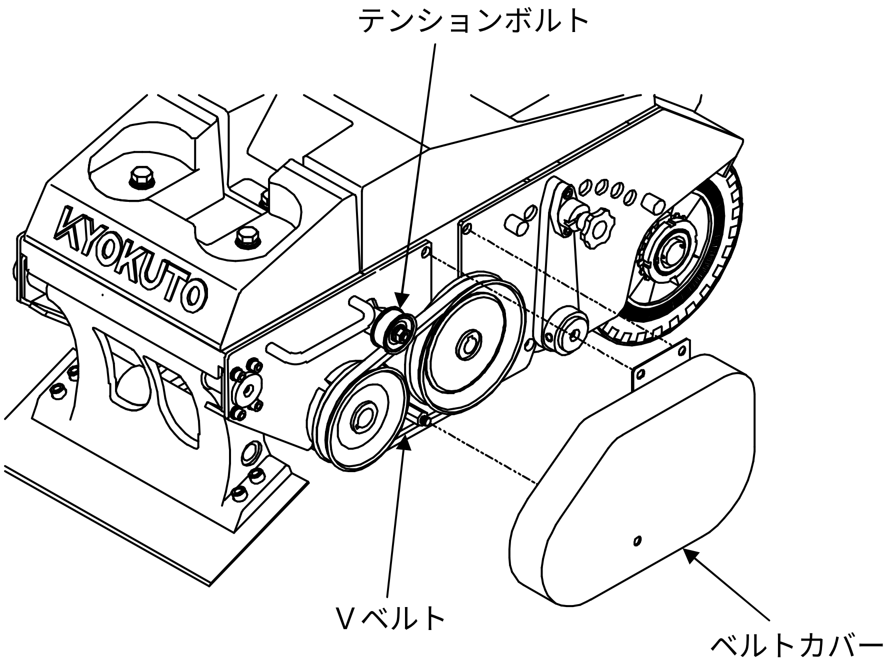


図１３

> 警 告
> 作業中は必ずスイッチをＯＦＦにして電源プラグを抜いて下さい。

> 注 意
> ベルトに損傷がある場合は必ず新しい物に取り替えて下さい。

走行用ベルトの調整と取り替え

［1］ ウエイトカバーを外して下さい。

［2］ テンションボルトを緩め、走行用ベルトを適当な張り状態にして、テンションベルトを締めて下さい。
この時、走行用チェーンが弛まない様に注意して下さい。（図１４参照）

MEMO
ベルトの張り具合はベルト中央を軽く押さえて約１mmたわむ程度が適当です。

［3］ ウエイトカバーを取り付けて下さい。

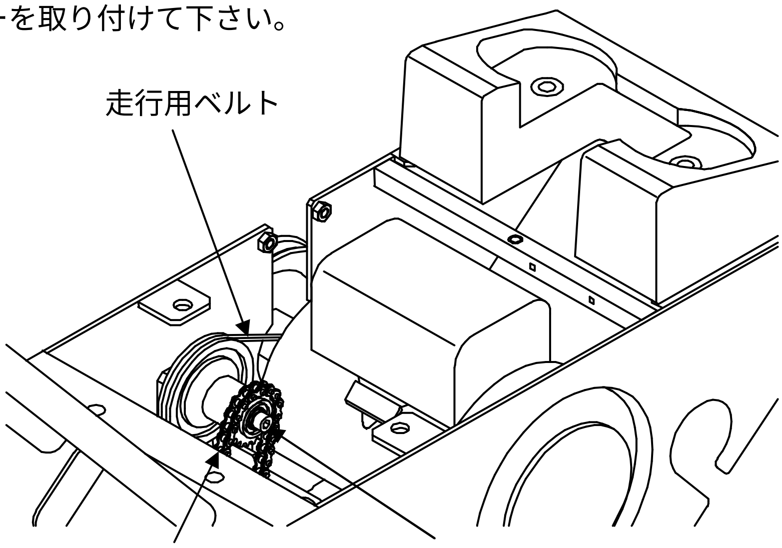


図１４

[走行ベルトが摩耗、破断している場合]

［1］ ベルトカバーを外して、刃物用ベルトを一度取り外して下さい。
（図１３参照）

［2］ モータープーリーから走行用ベルトを入れ、フレームの中に通して下さい。

［3］ テンションボルトを緩め、走行用チェーンを外し、走行用ベルトを掛けて下さい。

［4］ 外した走行用チェーンを掛け直し、走行用ベルトと走行用チェーンを張り直し、テンションボルトを締めて下さい。

※刃物用ベルトおよび走行ベルトの各調整（ベルトの張り具合）は上記の通り実施して下さい。

警告
作業中は必ずスイッチをＯＦＦにして電源プラグを抜いて下さい。

グリスの給脂

●刃物ブラケット部（ロッド部）

［１］ ウエイトを外して下さい。
（Ｐ５ 図４参照）

［２］ グリスニップルにグリスガンで給脂して下さい。（図１５参照）

［３］ ウエイトを取り付けて下さい。

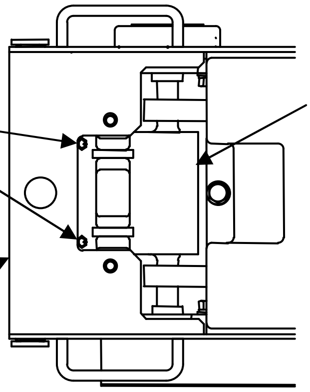


図１５

●走行部（ギヤ部）

［１］ ギヤカバーを外して下さい。

［２］ グリスニップル及びギヤ部にグリスガンで給脂して下さい。
（図１６参照）

［３］ ギヤカバーを取り付けて下さい。

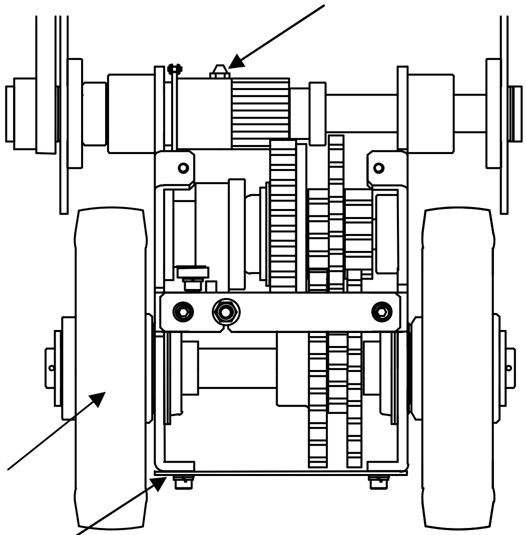


図１６

警告
作業中は必ずスイッチをＯＦＦにして電源プラグを抜いて下さい。

注意
作業毎あるいは現場毎のように定期的なグリスアップを行って下さい。
油脂分を切らさないように注意して下さい。
※グリスは付属品もしくはリチューム系グリス＃０を使用下さい。

刃物の研磨

剥がれ具合が悪くなった刃物は、図１７に示すようにグラインダー等で刃先を研磨して下さい。

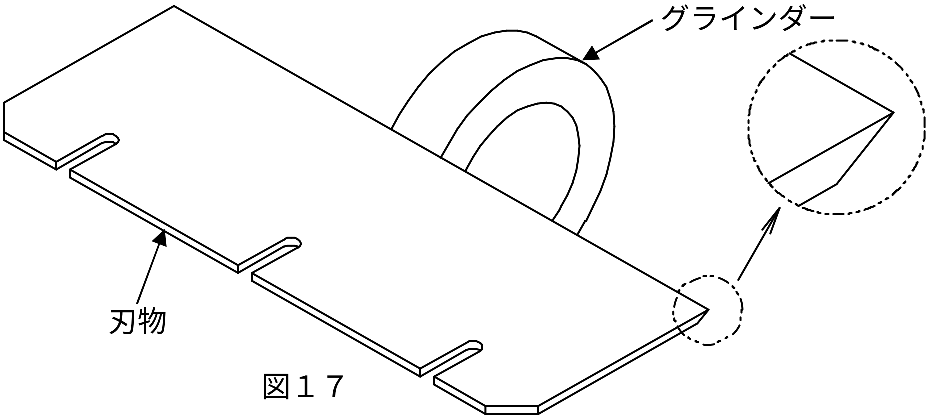


図１７

警告 研磨時は必ず保護メガネ等の保護具を着用して下さい。

注意 刃物が短くなった場合は、早めに新しい刃物と交換して下さい。

MEMO
新しい刃物や再研磨した予備の刃物がない場合は、図１８のように刃物を取り付けたままディスクグラインダーで研磨する事も可能です。但し、作業の際はハンドルを人がしっかりと支えて固定して下さい。

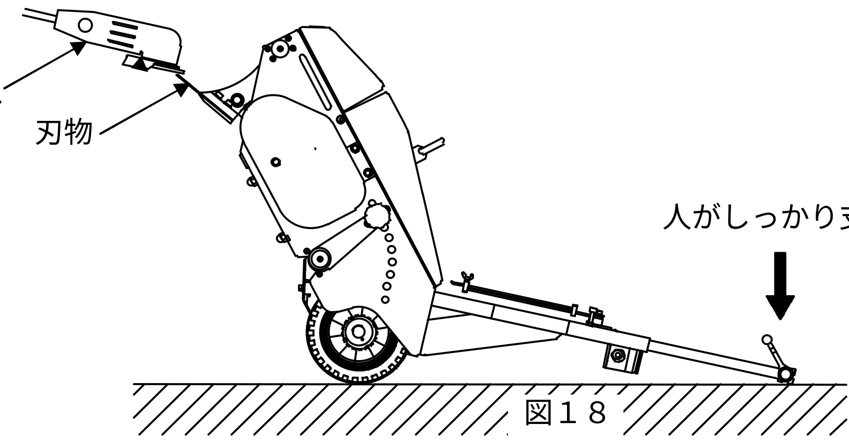


図１８

警告 作業中は必ずスイッチをＯＦＦにして電源プラグを抜いて下さい。

継ぎピースのセット方法

［1］ 摩耗して短くなった刃物は継ぎピースをセロハンテープ等で刃物に固定して使用して下さい。（図１９参照）

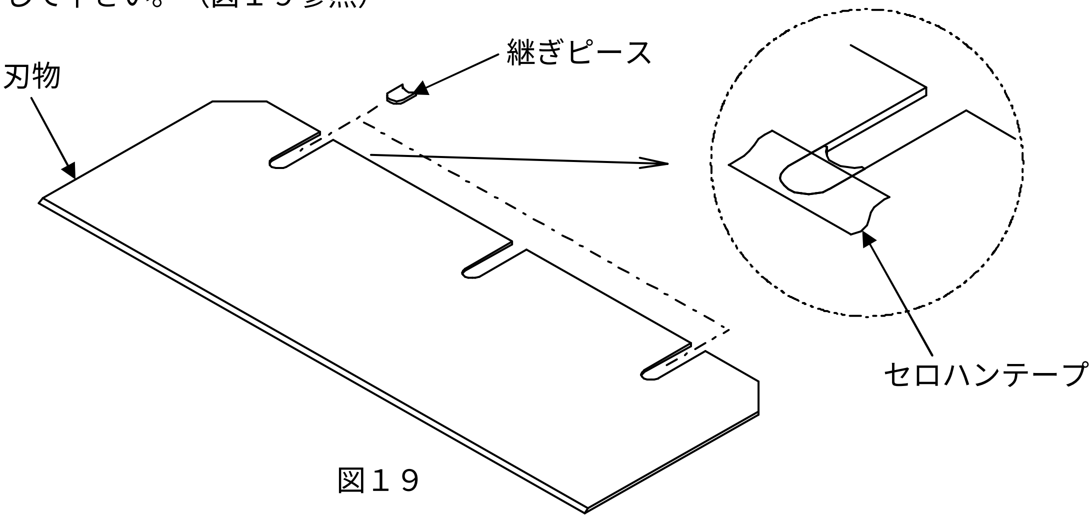


図１９

注　意

継ぎピースを使用しても使えなくなった短い刃物は新しい刃物に取り替えて下さい。

クラッチの調整方法

※クラッチレバーを握っても遊びが大きくクラッチが切れにくい場合には、下記の要領で調整して下さい。

［1］ クラッチレバーに付いているロックナットを緩め、ワイヤー調節ネジでクラッチが適切に切れる位置に調整して下さい。

ワイヤー調節ネジを左側に出すとクラッチの遊びが少なくなり、右側に入れるとクラッチの遊びが大きくなります。

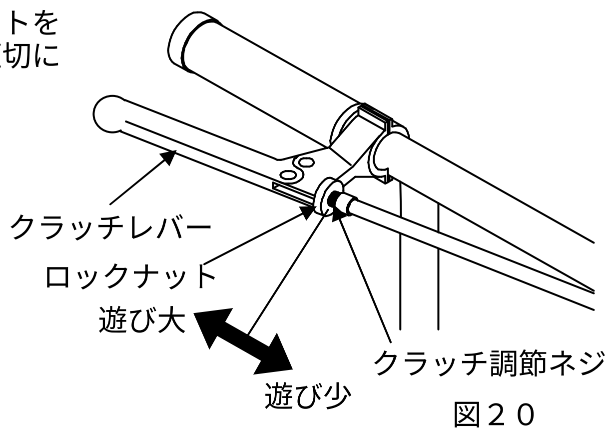


図２０

注　意

クラッチワイヤーは、使用しているうちに伸びてくることがありますので、使用前に点検しておくと作業中にクラッチワイヤーが切れた等の故障を防ぐことが出来ます。

過負荷遮断機構

本機には過負荷遮断機構がスイッチに内蔵されています。
作業中に過負荷（定格電流９Ａ以上）になると自動的に電流が切れますので、作業を再開されるには過負荷の原因を取り除きスイッチをＯＮにして下さい。
過負荷の原因を取り除いても度々過負荷遮断機構が働く場合は、遮断機構の設定値を変更して下さい。（図２１参照）



・コードリールや延長コード等で電線を延長して電圧が低下している場合に過負荷遮断機構が働く場合があります。この場合には電線の延長をやめ、本機の電源プラグを直接コンセントに差し込んで下さい。
・工事現場の電源電圧自体が低下している場合には、昇圧器（別売）を利用して電圧をＡＣ１００Ｖに昇圧した後にご使用下さい。

設定値の変更

［１］ スイッチがＯＦＦになっている事を確認し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

［２］ スイッチ部保護板を外し、続いてスイッチカバー固定ネジを緩め、スイッチカバーを外して下さい。

［３］ スイッチ内部にある設定値変更ダイヤルをマイナスドライバーで右に回し、設定値を変更して下さい。

［４］ スイッチカバーおよびスイッチ部保護板を取り付けて下さい。

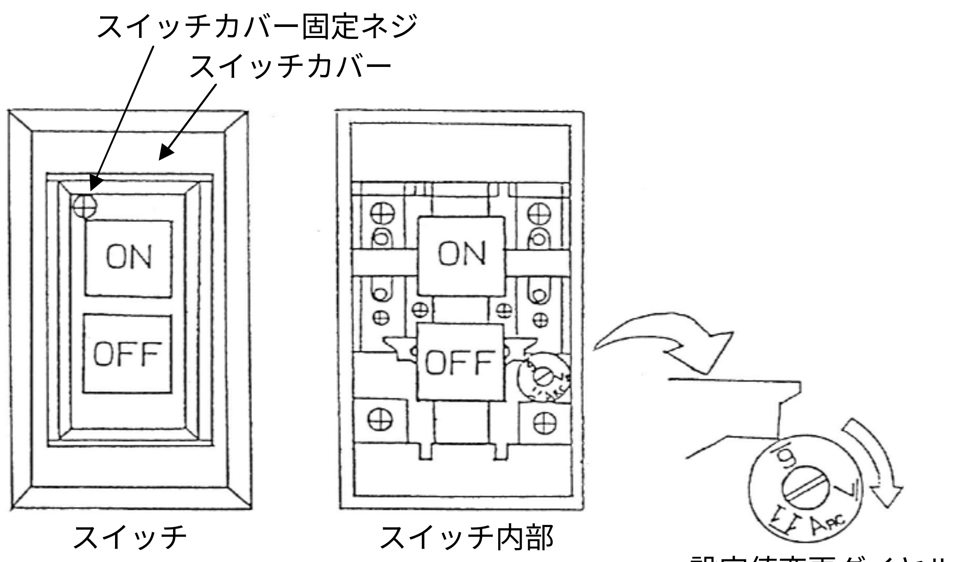
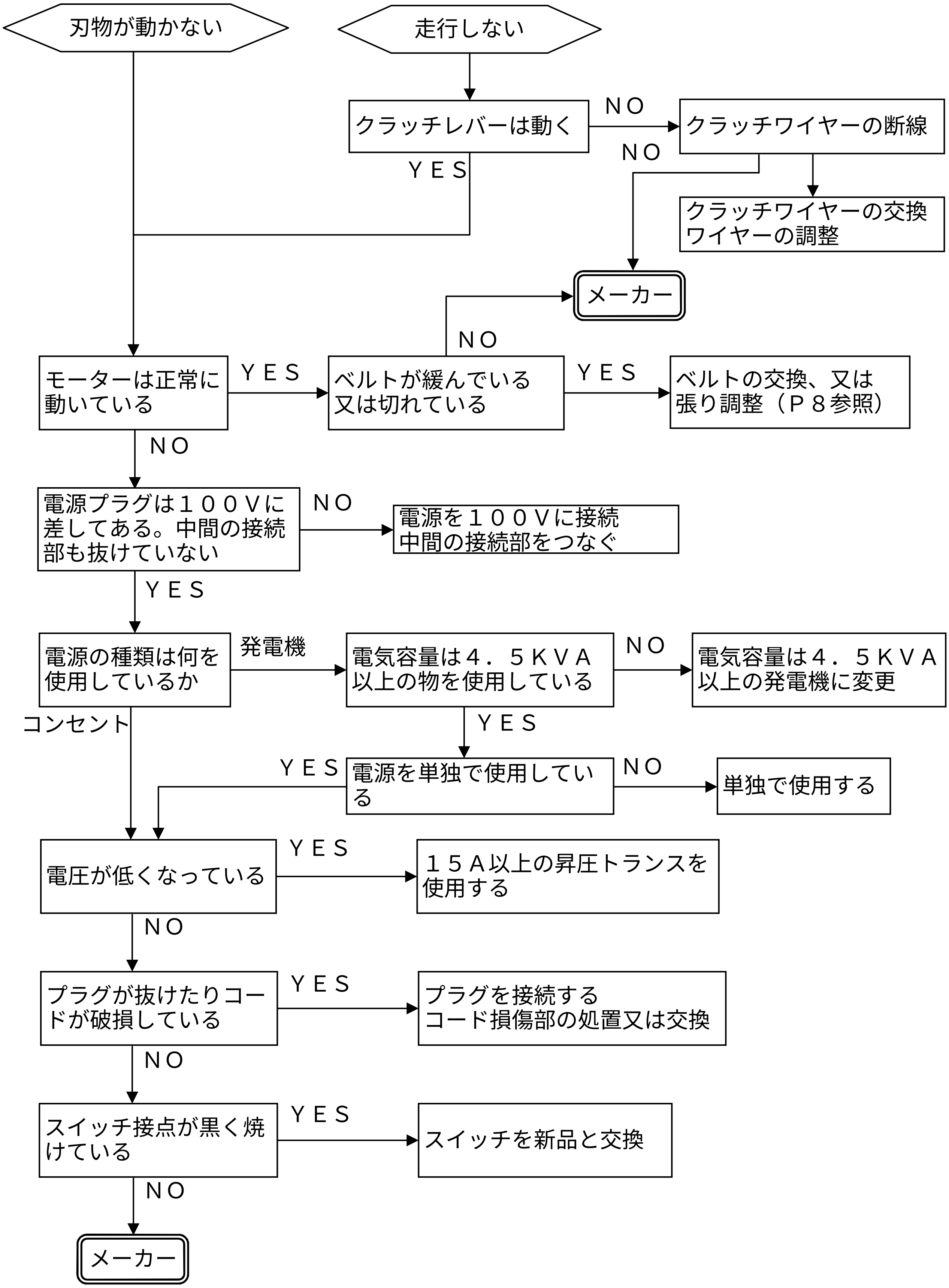


図２１

トラブルチェックフロー

本機に異常が生じた場合は、下記のトラブルチェックフローに従ってチェックし、対処して下さい。「メーカー」に行き着いた場合は、お求めになられた販売店または弊社までご連絡下さい。



仕　　様

製品コード	０５２－００５３－００
全長	920mm（ハンドル収納時）
全高	630mm（ハンドル収納時）
全幅	510mm
質量	118ｋｇ（ウエイト：15ｋｇ含む）
電源	ＡＣ100Ｖ
モーター	コンデンサ始動コンデンサ誘導型モータ、550W ９．４Ａ（５０Ｈｚ）　８．２Ａ（６０Ｈｚ）
走行速度	MAX約４６５m/h　５０Ｈｚ MAX約５６０m/h　６０Ｈｚ
刃先振動数	１，９３８ｍｉｎ$^{-1}$（回／分）　５０Ｈｚ ２，３２６ｍｉｎ$^{-1}$（回／分）　６０Ｈｚ
刃幅	３０５mm（普通刃） ２９５mm（シート刃） １５０mm（強力刃）
刃物角度	２５°～４０°（７段階で変更可能）
電源コード	約１ｍ　　アース付きプラグ採用（本体コード） 約１０ｍ　ポッキンプラグ採用　（延長コード）
絶縁抵抗値	１００ＭΩ　以上
２重絶縁構造	未設定

※製品仕様は改良等のため、予告なく変更する場合があります。

消　耗　品

品　　名	品　番・図　番	個数	備　　考
普通刃　　305mm	21－6310	1	
シート刃　295mm	21－6311	1	
強力刃　　150mm	21－6309	1	
車輪	J26-4531-00-01	1	
刃物用ベルト（ＳＡ－２５）	00GY10084	1	バンドーベルト VベルトSA-25（レッド）
走行用ベルト（５Ｍ－４１２）	00HA90003	1	三ツ星ベルト ポリマックスベルト５Ｍ－４１２

お問い合わせ先

インテリア機器の総合メーカー
極東産機株式会社
〒679-4195兵庫県たつの市龍野町日飼190 TEL0791-62-1771
URL http://www.kyokuto-sanki.co.jp/

お客様相談室　0120-079177（土・日・祝日を除く 10:00〜18:00）